

〈学校教育法附則第9条の規定による教科用図書〉

別 表

平成29年度使用特別支援学級及び特別支援学校（小・中学部）の  
教科用図書の採択基準及び基本観点について

- 1 採択に当たっては、下学年用の文部科学省検定教科書又は文部科学省著作教科書の使用を十分考慮すること。
- 2 上記1が適当でなく、他の適切な教科用図書（一般図書）を使用しようとする場合は、本表に示す採択基準及び基本観点に基づき調査、研究した上で採択すること。

採 択 基 準	基 本 観 点
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす（注1） (2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮 (2) 自主性や創造性、思考力の育成
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性 (2) 全体の分量
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵 (2) 図表、写真等の資料
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど (2) 文字の大きさ、字間、行間 (3) 用紙、製本、表紙

（注1）発達段階のめやす

- A 表情や身ぶりを豊かにする段階  
C 書き言葉を習得する段階

- B 話し言葉を豊かにする段階  
D 書き言葉によって思考する段階